

松陽高で 多彩に輝け



発行所
鹿児島県立松陽高等学校
新聞同好会
鹿児島市福山町573番地

新入生歓迎号
1面…松陽太郎の一日
2面…芸棟探検～美術科編

Art Days
アートな日々
VOL.9
宋詩

制作者 竹之下奈那さん(316)

唐の書家四大家の一人、顔真卿(がんしんけい)の「財産や地位をあとになどするものか」という内容の詩句を、蚕頭燕尾(さんとうえんび)と呼ばれる筆法(へんぽう)とわりは鋭く(きよく)、終を意(い)識(し)して力強く(ちからよく)揮(ひ)毫(ぼう)した。本館3階に展示中。[新入生春真]

生前富貴誰能必身
後聲名我不知

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新しい制服や教室、そして新しい仲間との生活に、期待と同時に少し不安を感じている人もいるでしょう。環境が変われば戸惑いや緊張があるのは自然なこと。特に人間関係については、「友達ができるかな」「うまく話せるかな」と心配になることもあると思います。でも、新しい出会いは自分を成長させてくれる大切な機会です。あいさつをしたり、少し声をかけてみたりする小さな一歩が、つながりを生むきっかけになります。▼松陽高校では部活動や学校行事が盛んです。部活動では仲間と努力を重ねる中で強い絆が生まれます。体育祭では学年全体で協力し、一体感を味わえるでしょう。さらに松伊戦のような行事では、クラスメイトや友人と応援し合うことで、仲間とのつながりがより深まります。▼学校生活では悩むこともあるかもしれませんが、みなさんを成長させてくれます。周りの関わりを大切にしながら、自分らしいペースで歩いてください。新しい日々の中で、たくさんの出会いや学びが生まれることを願っています。みなさんの学校生活が充実したものになるよう心から応援しています。

勉強も部活も本気で取り組む 個性豊かな仲間とともに

新入生の皆さん入学おめでとうございます。新聞同好会では、少しでも皆さんの新生活の不安を解消しようと考え、入学記念号を制作しました。皆さんのスムーズな学校生活スタートのお役に立てれば幸いです。



普通の松陽生 松陽太郎の華麗な一日

交差点では 車に気を付けて

俺は松陽高校普通科に通う松陽太郎(まつようたろう)。JR通学にも慣れてきて、同じサッカー部の友達と一緒に登校している。ずっと立っているのは退屈だけど、もう慣れた。今日はテストもないし、1限目から体育でやる気は十分だ。さて、JRが上伊集院駅に着いた。ここからは友達と話しながら学校へ向かう。JRを降りて最初に渡る十字路は、青から赤への切り替わりが遅めでありがたく感じる。だが、信号を超えたからと言って、油断はできない。松陽台ふれあい公園付近にある交差点は要注意だ。

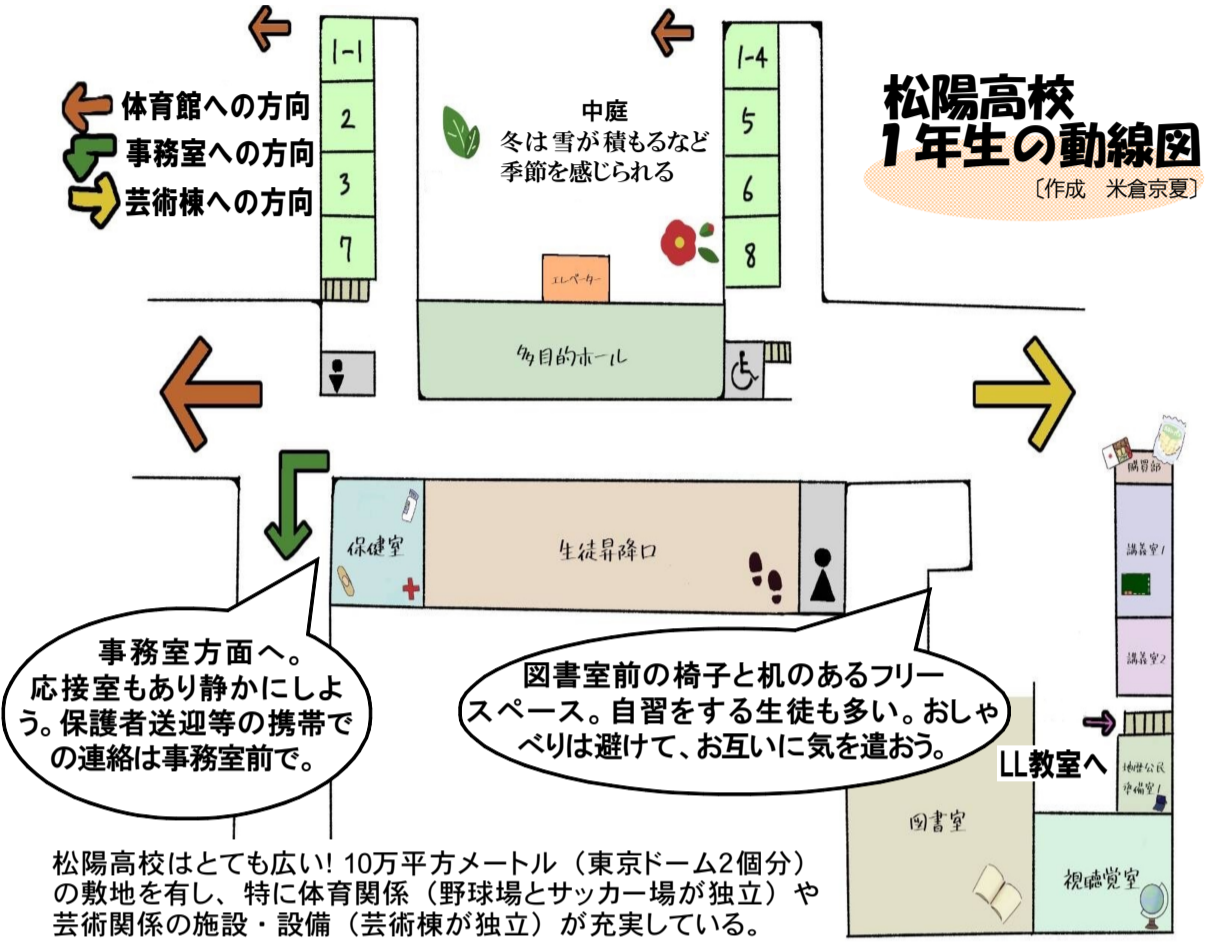
松陽太郎(2年)
西陵中出身
サッカー部
ト前は貴重な勉強時間だ。この「朝活用の時間」は、

意だ。信号や横断歩道はあるが、通勤を急ぐ車にぶつかりそうになったことがある。学校に着いたら、やっぱり宿題を終わらせたり、友達と話したりするが、テスト前は貴重な勉強時間だ。この「朝活用の時間」は、

世界の引き戻される。さっそく1限目の体育が始まった。今回の種目はサッカーで、向かってくる相手をかわし、シュートするのはとても気持ちよかった。汗をタオルで拭き、残りの授業に備える。体育の後なので、眠くなったが何とかこらえて授業を受けられた。

午前の授業も終わり、昼休みに入った。注文していたから揚げ弁当を受け取りに購買部へ走る。もちろんこれだけでは足りない。松陽名物「ワンタン」も購入。最近のお気に入りはこちら(税込150円)だ。さらに自販機でカルピスも購入し、充実した昼食の完成だ。温かく優しい味のワンタンを口に運ぶと、気分がほっとする。

出たごみはしっかりと購買前のごみ箱に捨て、



松陽高校はとても広い! 10万平方メートル(東京ドーム2個分)の敷地を有し、特に体育関係(野球場とサッカー場が独立)や芸術関係の施設・設備(芸術棟が独立)が充実している。

朝読書でついた 読書の習慣

そして、SHR後の「朝読書の時間」。図書館で借りた小説を開き、その世界に没入する。気が付けば校歌が鳴り、名残惜しさを感じつつ現実



冬が寒い松陽では温かいワンタンは大人気だ

「今日も一日大変だった」と思いつつ、窓から見た夕日に明日へのエールをもらった気がした。

[長野雄太]

「馬渡奏多」

※この新聞は学校の公式ホームページからバックナンバーを含めてカラーでご覧になれます。